

本日の予定

1. 準備
2. プログラムを走らせてみる
3. レポートの解答作成

1. 準備

1. ログインする.
2. **Terminal** を動かす (TSUBAME と直接対話する窓口).
 - 2.1. **mkdir** kadai3 課題2の部屋(フォルダ)を作る.
 - 2.2. 必要なファイルを共通のお部屋から kadai3 へコピーする.

共通ファイルの置き場所: Desktop/shared/cs/cs0/kadai3

2. 今回やるべきこと

コンピュータ・サイエンス入門
クラス: 4a 担当: 渡辺
2015.12.3

テーマ 最短経路長計算

- ・ 基本アルゴリズムを理解する
- ・ 基本アルゴリズムと高速アルゴリズムの計算量の解析

やるべきこと

1. 基本アルゴリズムの理解 ← 前回の授業で, ほぼOK ;-)
+ 高速化の工夫の理解 ← これは至極簡単 ;-)
2. 計算効率(今回は計算速度)の意味を実験で実感
3. 計算量(今回は時間計算量)についての理解
 - ・ アルゴリズムの「計算量」という概念
 - ・ dist1 と dist2 の計算量の評価
 - ・ 計算時間との関係の解析

3. レポート

※切:12月17 の授業開始時

コンピュータ・サイエンス入門
クラス:4a 担当:渡辺
2015.12.3

やるべきこと

1. 基本アルゴリズム, 高速化の工夫の理解
2. 計算効率(今回は計算速度)の意味を実験で実感
3. 計算量(今回は時間計算量)についての理解
 - ・ アルゴリズムの「計算量」という概念
 - ・ dist1 と dist2 の計算量の評価
 - ・ 計算時間との関係の解析

提出物と採点基準(満点 16)

1. 基本アルゴリズムと高速化の説明 (8)
2. 計算量の評価 dist1, dist2 (4)
3. 実験結果の解析 (4)

以下はオプショナル(加点 ≤ 8)

4. アルゴリズムの更なる工夫とその計算量, 計算時間の解析

命令	使用例	意味
mkdir	mkdir kadai2	kadai2 というフォルダ(部屋)を作る
cd	cd kadai2	kadai2 というお部屋に入る
	cd ..	上の(大きな)部屋に戻る
	cd ../..	上の上の部屋に戻る
ls	ls	その部屋にあるファイルを表示する
rm	rm foo.rb	foo.rb を消す(戻らないので注意)
cat	cat foo.txt	foo.txt の中身を画面に表示する